

スポーツは地域活性化の切り札になり得るか

身近になった「みる」スポーツ

宮城県仙台市を本拠地とするプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」（以下、「楽天イーグルス」という）が誕生し、ことしで7年目のシーズンを迎えた。同球団の観客動員数は参入初年度となった05年度に早くも100万人に迫る勢いを見せると、その後も野球人気の高さなどを背景として着実に観客動員数を伸ばし、今や東北最大のプロスポーツイベントになった。

また、東北で開催されるプロスポーツイベントというくくりでみれば、野球のほかにもサッカー（Jリーグ）や競馬、競輪の人気の根強く、これらの競技だけで年間100万人を超える入場者数がある。加えて、バスケットボール（bjリーグ）やフットサル（Fリーグ）など新しいプロスポーツの人気の高まっている。これらプロスポーツの観客動員数を集計すると、東北では年間250万人を超える規模に達する【下記グラフ参照】。

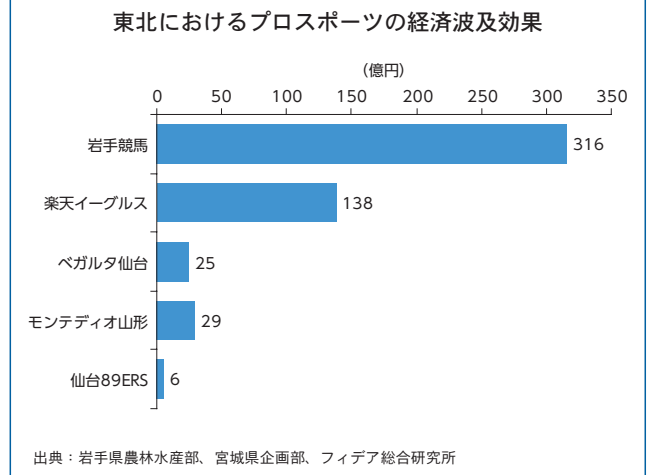
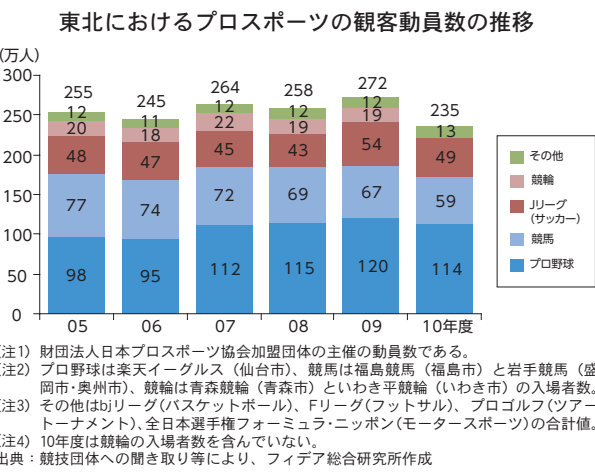
楽天イーグルスの誕生はもとより、各種スポーツのプロ化が進むとともに、地域密着志向とも相まって急激に「みる」スポーツの存在感が増している。これまでプロスポーツの定番であった競馬や競輪、ゴルフの

観客動員数は伸び悩んでいるが、代わってプロ野球やサッカーなど、東北では比較的なじみの薄かった競技が台頭し、「みる」スポーツの底上げにつながっている。

プロスポーツの経済波及効果

地域にプロスポーツが存在するメリットが語られるときに決まって話題にされるのが、地域にもたらされる経済波及効果である。たとえば、現在岩手県では、東北で開催されている唯一の地方競馬である岩手競馬の存続について話し合い（「岩手競馬経営の将来方向検討会議」）が行われているが、県では地域産業への経済波及効果を316億円と見積もっており、その効果の大きさを検討材料の1つにしている。

また、楽天イーグルスの経済波及効果は138億円、モンテディオ山形は29億円、ベガルタ仙台は25億円という調査結果を見ても明らかのように【下記グラフ参照】、プロスポーツが地域にもたらす経済的なメリットは確かに大きい。特に、スポーツ観戦は観戦チケットやグッズの購入などのほかにも、現地までの移動や宿泊、飲食などに関する需要も発生するため、すそ野の広い波及構造を持っている。最近はスポーツを観たり、楽しんだりすることを総称して“スポーツツーリズム”と



言うが（詳細は巻末32ページの「用語解説」をご覧ください）、そもそもこうした推計を自治体などが実施していることからもうかがえるように、スポーツツーリズムにける地域の期待は大きい。

東北のスポーツツーリズム市場は500万人超

プロスポーツに限らず、東北にはたくさんのスポーツ関連イベントや施設等が存在する。そこで、観光統計や主催団体のホームページなどを使って、東北のスポーツツーリズム市場の大きさを調べてみた【下表参照】。調査結果は、イベントであれば参加者1,000人以上（マラソンは5,000人以上）、競技施設（スキー場やゴルフ場など）であれば利用者が10万人以上に限定して掲載している。

まずジャンルごとにみると、比較的多く開催されているのがマラソンであり、参加者と観客を合わせて5,000人を超える規模の市民マラソンは各県で必ず1つ以上は開催されている。また、スポーツツーリズムの定番ともいえるスキーは、スキー場利用者の低迷が続いて久しいものの、東北全体では265万人以上の入り込みを誇り、いまだに大きなウェイトを占めている。このほか、ゴルフやトレッキング、トライアスロンなどの個人競技から、サッカーやバスケットボールなどの団体競技にいたるまで、東北ではさまざまなイベントが開催されている。

このほかにも掲載しきれいないスポーツイベントや競技施設は300以上にのぼる。東北のスポーツツーリズム市場をざっと見積もってみても、年間500万人はくだらない。

スポーツの持つ新たな可能性

こうして改めてスポーツツーリズム市場を俯瞰してみると、スポーツの持つさまざまな可能性に気付かされる。まだスポーツが社会体育や住民の健康づくりの延長線上だ

けで語られることの多かった時代と比べて、近頃はスポーツイベントの開催を通してまちづくりや観光振興などに力を入れている自治体も増えている。

たとえば、楽天イーグルスとベガルタ仙台、仙台89ERSの3つのプロスポーツを抱える仙台市では、スポーツ振興課を教育委員会から市民局へ移し、専属の職員を配置して取り組んでいる。また、山形県で最大の市民マラソンを主催する東根市も大会担当は商工観光課だ。詳細は次ページ以降に譲るが、スポーツコンテツを地域の活性化のためにどう生かすかという着想を持って取り組むためには、組織や業種を超えた柔軟な連携が必要不可欠だ。そのためにはスポーツの持つ多様な可能性を引き出せる体制づくりがカギとなる。

（フィデア総合研究所・齋藤 信也）

東北の主要なスポーツイベント・施設（プロスポーツを除く）

県名	市町村	イベント・施設名	ジャンル	参加・入場者数(人)
青森県	八戸市 板柳市	八戸うみねこマラソン全国大会 りんごの里板柳まるかじりウォーク	マラソン	5,802
			ウォーキング	1,014
岩手県	藤沢町 盛岡市 一関市 奥州市 釜石市 洋野町 八幡平市	全日本モトクロス選手権東北大会 盛岡・北上川ゴムボート川下り大会 北上川流域交流Eボート大会 スポニチ奥州前沢マラソン 釜石はまゆりトライアスロン国際大会 ひろのビーチサッカーフェスティバル 安比高原	モトクロス	11,906
			ボート	3,000
			ボート	1,000
			マラソン	8,700
			トライアスロン	1,000
			ビーチサッカー	1,600
			スキー	490,978
宮城県	仙台市 仙台市 松島町 仙台市 大崎市 仙台市 蔵王町 大崎市 村田町 亘理町	仙台カップ国際ユースサッカー大会 仙台国際ハーフマラソン 松島ハーフマラソン大会 全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝） 岩出山バルーンフェスティバル スプリングバレー えぼしスキー場 リゾートパークオニコウベ スポーツランドSUGO マリンスポーツ・釣り	サッカー	22,000
			マラソン	49,472
			マラソン	6,035
			駅伝	80,300
			熱気球	15,000
			スキー	111,052
			スキー	147,830
			スキー	150,200
			モータースポーツ	230,290
			釣り	141,960
			秋田県	能代市 横手市 仙北市 仙北市 男鹿市 にかほ市 大仙市 大仙市 秋田市 仙北市
バスケットボール	5,000			
マラソン	12,000			
マラソン	11,000			
トライアスロン	5,000			
綱引き	6,000			
野球	4,350			
剣道	2,500			
スキー	110,465			
山形県	東根市 鶴岡市、他 酒田市、他 山形市、他 山形市 西川町	果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会 月山 鳥海山 蔵王連峰 蔵王温泉スキー場 月山スキー場		
			トレッキング	323,900
			トレッキング	315,900
			トレッキング	252,000
			スキー	492,400
			スキー	149,400
福島県	いわき市 郡山市 二本松市 伊達市 楢葉町 郡山市 北塩原村 いわき市 西郷村 南会津町 磐梯町 猪苗代町 猪苗代町 北塩原村 天栄村	いわきサンシャインマラソン 郡山シティーマラソン 東和ロードレース大会 伊達ももの里マラソン大会 Jヴィレッジ 郡山カップ福島県フットサル選手権 松原湖一周ファミリーサイクリング大会 ゴルフ場 西郷村ゴルフ場 会津たかえつスキー場 アルツ磐梯スキー場 猪苗代スキー場 フリースタイルFISワールドカップ猪苗代大会 グランデコスノーリゾート グランディ羽鳥湖スキー	マラソン	7,100
			マラソン	6,040
			マラソン	10,000
			マラソン	6,574
			サッカー	456,673
			フットサル	3,000
			サイクリング	1,127
			ゴルフ	621,742
			ゴルフ	139,436
			スキー	280,640
			スキー	254,931
			スキー	150,442
			スキー	15,013
			スキー	186,298
			スキー	106,749
計				5,436,161

(注1) イベントは1,000人（マラソンは5,000人）以上、スキー・ゴルフは10万人以上のもののみ掲載
 (注2) 総合スポーツ施設（～運動公園など）は未掲載
 (注3) 果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会は参加者のみのデータ
 出典：各県観光統計、競技主催者ホームページなどよりフィデア総合研究所作成